

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※計画策定時(R3年度)の事業規模	計画との関連			令和4年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和4年度の取組内容
1	市民部	文化振興課	大津市文化団体派遣事業	・市内文化団体の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞・体験機会の提供	学校や公民館等が開催する演奏会や講演会などに、大津市文化連盟に加盟している芸術文化団体等を派遣し、活動してもらうことにより、地域を元気にするとともに、文化活動の裾野を広げる。(10名以上の団体が申請可能)	各回派遣5人程度×36回	1 文化芸術に親しむづくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(R3～)	派遣回数:40回 参加者数:1,000人	派遣回数:11回 参加者数:704人	C(20～50%達成)	370	事業利用者・参加者からの実施満足度は高かったが、実際に派遣した団体は36団体の6団体であり、派遣団体の偏りが生じた。 また、SNSでも周知を行うなど、広報力強化が課題である。
2	市民部	文化振興課	民間のノウハウを生かした文化施設の運営/自主事業の実施	・民間のノウハウを生かした有効な施設運営と活用 ・市内文化団体・個人の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞・体験機会の提供	指定管理者制度を導入している3施設(大津市民会館、スカイプラザ浜大津、大津市伝統芸能会館)にて、貸館事業、指定自主事業及び指定管理者独自の自主事業を展開する。	【利用人数】 市民会館:56,823人 スカイプラザ浜大津:60,985人 伝統芸能会館:8,237人 【自主事業実施回数】 市民会館:28回 スカイプラザ浜大津:17回 伝統芸能会館:9回	1 文化芸術に親しむづくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	市民会館 (R3～R5) スカイプラザ浜大津 (R2～R6) 大津市伝統芸能会館 (R2～R6) ※現指定管理者の指定期間	【利用者数】 市民会館:56,823人 スカイプラザ浜大津:55,000人 伝統芸能会館:15,000人 【自主事業実施回数】 市民会館:51回 スカイプラザ浜大津:24回 伝統芸能会館:14回	【利用人数】 市民会館:82,883人 スカイプラザ浜大津:67,394人 伝統芸能会館:11,931人 【自主事業実施回数】 市民会館:32回 スカイプラザ浜大津:20回 伝統芸能会館:10回	B(50～80%達成)	16,340	令和3年度と比べ、公演も平常どおり開催が可能となり、徐々に稼働率・利用者数ともに回復してきているが、新型コロナウイルス感染症流行前の水準には達しておらず、利用者のニーズを的確に把握する必要がある。 施設管理については、利用者が安心・安全に施設を利用できるように、軽微な施設修繕が迅速に実施されている。 自主事業については、今後、指定管理者主催事業の積極的な計画や事業内容の充実、実施回数の拡充が求められる。 ※市民会館はR6年度から、スカイプラザ浜大津・伝統芸能会館はR7年度から指定管理者を更新する。
3	市民部	文化振興課	アウトリーチ事業の推進				事業実施の実績無しのため記載なし									
4	市民部	文化振興課	美術展、写真展、文化祭	市民が日頃から自主的に展開している文化活動の成果を発表・鑑賞するとともに、誰もが文化芸術に親しむ機会を創出し、多様な主体や世代等による交流や相互理解を促進することで、市民文化の向上に資する	【大津市美術展覧会】 日本画、洋・版画、彫刻、工芸、書の5部門で作品を公募し、審査を経て入選した作品を展示する。期間中には作品講評会等を開催し、芸術に親しむ市民の裾野の拡大に努める。 【大津市写真展覧会】 写真作品を公募し、審査を経て入選した作品を展示する。また、期間中に審査員による講演会を開催し、写真に親しむ市民の裾野の拡大に努める。 【大津市文化祭】 舞台発表・展示発表からなるオープニングセレモニー、短歌・俳句の作品を募集し、審査の上、優秀な作品を表彰する大津市民短歌・俳句大会、市民文芸誌「湖都の文学」冊子発刊の計3事業を実施する。また、各学区並びに芸術文化団体が「大津市文化祭」参加行事として、文化祭を実施する。	【大津市美術展覧会】 出品数:339点 入場者数:1,343人 【大津市写真展覧会】 出品数:284点 入場者数:1,011人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:18団体 入場者数:400人 ※R3はコロナで中止したため、R4実績 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,596点 〈湖都の文学〉 応募数:269点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:29団体 入場者数:9,042人	1 文化芸術に親しむづくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	【大津市美術展覧会】 (S25～) 【大津市写真展覧会】 (S52～) 【大津市文化祭】 (S22～)	【大津市美術展覧会】 出品数:350点 入場者数:1,400人 【大津市写真展覧会】 出品数:300点 入場者数:1,100人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:18団体 入場者数:500人 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,600点 〈湖都の文学〉 応募数:300点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:54団体 入場者数:9,100人	【大津市美術展覧会】 出品数:316点 入場者数:1,649人 【大津市写真展覧会】 出品数:274点 入場者数:943人 【大津市文化祭】 〈オープニングセレモニー〉 出演団体数:18団体 入場者数:400人 〈短歌・俳句大会〉 応募数:4,748点 〈湖都の文学〉 応募数:278点 〈各学区・芸術文化団体文化祭〉 参加団体数:39団体 入場者数:16,951人	B(50～80%達成)	4,341	美術展、写真展、文化祭のすべてで出品者や出演者の層が固定化されており、高齢化が顕著である。今後は、高校や大学等への周知を積極的に行うなど、特に若年層の参加を促す試みが必要である。
5	市民部	文化振興課	障害者団体への文化活動のサポート	障害の有無に関わらず、誰もが容易に文化芸術活動、表現活動を行うことができる環境づくりを推進する。	後援、文化施設の先行予約を承認することで、障害者団体の文化活動のサポートを行う。	—	1 文化芸術を支える人づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	—	—	後援1件 スカイプラザ浜大津の先行予約1件	—	—	文化振興の上で、障害者団体との関わり方が、後援と文化施設の先行予約の承認に留まっている。 市内では、障害者で構成された劇団と、健常者で構成された劇団が一緒に作り上げた劇の公演等が行われ、障害者は支援されるだけでなく、発信する立場にもなることができることを発信し、相互理解の醸成に努められており、市としても今後、積極的な関わり方を検討していく必要がある。
6	市民部	文化振興課	大津市の文化資源等の情報を掲載するサイトの開設				事業実施の実績無しのため記載なし									当初は市HPから独立したポータルサイトを検討していたが、維持管理等に莫大な費用が必要であることから、新たなテンプレート開発を行い、作成することとなったため、R4～5年度は未開設となったが、掲載内容の情報収集等をふまえ、R6年度に集約サイトを開設する。 (「大津市歴史文化基本構想」において、R6～8年度の重点項目として文化振興課、文化財保護課、歴史博物館の3課連携の集約サイトの開設が掲げられている)
7	市民部	文化振興課	地域文化の情報収集と活用のための地域との連携				事業実施の実績無しのため記載なし									
8	市民部	文化振興課	文化賞の授与	本市の文化向上に著しい功績のあった個人・団体を表彰し、大津市の文化振興への更なる貢献を期待する。	毎年、永年にわたり文化活動に従事し、文化の向上と振興に特に著しい功績のあった方に対して「大津市文化賞」を、その中でも特に高い水準に達している方に対して「大津市文化特別賞」を、文化活動に従事し優れた功績のあった方でその活動において将来を期待される方に対して「大津市文化奨励賞」を、それぞれ授与する。	【受賞者数】 大津市文化賞:3人 大津市文化奨励賞:3人 大津市文化特別賞:1人	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(S63～)	—	【受賞者数】 大津市文化賞:2人 大津市文化奨励賞:3人 ※大津市文化特別賞は該当者無し	A(80%以上達成)	47	令和4年度は、郷土史研究者1名、大津絵師保存・継承者1名、落語家1名、音楽関係者2名に賞の授与を行った。
9	市民部	文化振興課	文化芸術団体補助事業	大津市文化祭事業として市内全域を対象に催される音楽や伝統舞踊など芸術文化の舞台公演や、茶道や華道など伝統文化の展示活動、文芸活動に対して支援する。 このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、本市の文化振興の推進を図る。	芸術文化団体の大津市文化祭参加事業に係る経費の補助 ・文化祭会場設置に係る経費 ・講師等に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟(芸術文化17団体が加入) (経費の1/2を補助、1団体当たり上限56,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H26～) ※補助金適正化後	—	14件(全17件中) 989,405円	—	896	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら活動を再開した文化団体が多く、おおむねコロナ以前の水準で各団体が活動された。
10	市民部	文化振興課	文化関連事業の共催、後援、賞の授与	・市内文化団体の活動の場の提供 ・市民への文化芸術鑑賞・体験機会の提供 ・文化芸術の担い手の育成	文化関連事業の共催、後援、賞の交付を行うことで、市民の文化芸術活動が活発に行われるよう支援するとともに、誰もが身近に文化芸術に触れることができる環境を充実させる。	共催:3件 後援:109件 賞の交付:20件	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	—	共催:4件 後援:110件 賞の交付:20件	共催:4件 後援:131件 賞の交付:19件	A(80%以上達成)	360	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら活動を再開した文化団体が多く見られ、後援名義の申請件数が増加した。 共催事業については、令和3年度に新型コロナウイルス感染症感染拡大のため開催を中止していた「びわ湖大津淡海節全国大会」に加えて、令和3年度に引き続き、「大津ジャズフェスティバル」、「わたしの打った能面」展、「青春21文字のメッセージ」の計4事業を実施した。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※計画策定時(R3年度)の事業規模	計画との関連			令和4年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和4年度の取組内容
11	市民部	文化振興課	市文化連盟補助事業	大津市文化連盟が行う文化活動顕彰事業や大津文化を掲載した機関紙発行事業、市民参加型の文化事業などについて支援する。このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、大津市の文化振興の推進を図る。	大津市文化連盟の文化事業に係る経費に対する補助 ・文化表彰に係る経費 ・文化事業に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟 (経費の1/2を補助、上限175,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援 ②他分野や他団体等との連携を促進するつなぎ手の育成・支援	維持・推進	(H26 ~)	—	1件(全1件中) 175,000円	—	175	文化活動顕彰事業や連盟に加盟する芸術文化団体の近況を掲載した機関紙発行事業等については例年実施されているものの、市民参加型の文化事業については、実施できていない。高齢化に伴い、各団体の活動も縮小傾向であるが、大津市の文化芸術振興の担い手、つなぎ手として、連盟の活動内容の見直しが必要。	
12	市民部	文化振興課	民間のノウハウを活用した人材育成研修	民間のノウハウを活用し、文化芸術活動を行う人材や、活動を支える人の活躍の場を広げるとともに、次世代を担う子どもや若者が、身近に文化芸術に触れることができる環境を充実することにより、地域の文化芸術の担い手となる人材を育てていく。	大津市民会館指定管理者による「市民育成事業」を実施(自主事業) ①「明日から使える！アートマネジメント講座 フリーアナウンサーに学ぶ“笑声”で魅せる！司会講座」 実施日時：2022年11月23日(水・祝) 参加対象：高校生以上 ②「ようこそ市民会館！レセプション講座」 実施日時：2022年11月3日(木・祝) 参加対象：高校生以上 ③「みんなのアイデアプロダクション めざせ！音楽プロデューサー！みんなで作るオリジナルコンサート」 実施日時：2022年12月3日(土)、12月18日(日)、2023年3月26日(日) 参加対象：小学3年生～大学生	—	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援 ②他分野や他団体等との連携を促進するつなぎ手の育成・支援	維持・推進	(R3 ~)	①定員：30名 ②定員：15名 ③定員：10名	①参加人数：18名(うち学生2名) ②参加人数：6名 ③参加人数：2名(小学生)	B(50～80%達成)	—	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	多少マニアックな内容のため、参加人数こそ募集定員の半数程度であったが、受講者からは大変好評であった。また、学んだ内容を次に活かせるような取り組みも実施されており、継続的な育成・支援につながっている。(例)自主事業でクラウドピア(スタンウェイ)を貸し切りで演奏できる「みんなのマイスタジオ」体験者の中から抽選で選ばれた方が参加できる貸切コンサートの司会役に、司会講座を受講された方を抜擢した。(受講者18人中4人が希望され、実施)
13	市民部	文化振興課	共催団体等との連携による人材育成支援				事業実施の実績無しのため記載なし									共催内容が負担金の支出、施設の先行予約及び施設使用料の減免、広報面の支援にとどまらず、運営等に踏み込んだ参加ができていない。そのため、共催団体との連携による人材育成支援には至っていない。今後共催内容の見直しや、関わり方について検討する必要がある。
14	市民部	文化振興課	子ども向け指定自主事業	次世代を担う子どもや若者がすぐれた文化芸術に触れる機会を提供し、子どもを対象とした指定自主事業(市から実施内容を指定する事業)を実施し、文化芸術を担う人材を育成する。	指定管理施設2施設(スカイプラザ浜大津、大津市伝統芸能会館)にて、子どもを対象とした指定自主事業(市から実施内容を指定する事業)を実施し、文化芸術を担う人材を育成する。	—	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	維持・推進	(R2 ~ R6) ※スカイプラザ浜大津、伝統芸能会館の現指定管理期間	—	—	C(20～50%達成)	—	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	スカイプラザ浜大津では、子どもを主な対象とする文化芸術の鑑賞事業を実施することとしており、7月～8月にかけて誰でも参加可能な「スマホで撮影してもかわない写真展」を開催し、22点の応募があった。伝統芸能会館では、大津市立小学校児童を対象とした能・狂言の実演家等を講師とする鑑賞・体験事業を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施されなかった。今後は、より子どもに特化した事業を積極的に計画し、充実させる必要がある。
15	市民部	文化振興課	子どもの作品展示事業	次世代を担う子どもたちが文化に触れる機会を創出し、豊かな個性と創造力の育成を目指す	大津市美術展覧会・写真展覧会と同時期に、同会場にて「七夕」をテーマとした作品を市立幼稚園の園児から募集し、子どもたちによる小さな作品展「集まれ！小さな芸術家！大津っ子作品展」を開催する。	出品数：約200点	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	維持・推進	(H28 ~)	—	出品数：194点	A(80%以上達成)	—	—	市立幼稚園29園の5歳児を対象として作品募集を行った結果、28園から出品をいただいた。歴史博物館2階ロビーにて、美術展及び写真展の会期中に作品展示を実施し、市展・写真展の作品鑑賞にもつながった。
16	市民部	文化振興課	伝統文化親子教室の実施	本市の子どもたちが身近な場所でさまざまな伝統文化を体験できる機会を提供し、伝統文化へのより深い理解と興味喚起を図ることで、伝統文化の将来を担う継承者、活動者の基盤を広げることにつなげる。市が各教室を統括することで、活動団体とのネットワークを構築し、市民の文化活動の情報把握や活用に繋げる。	①(統括実施) 令和4年6月中旬～令和5年1月末 伝統文化親子教室を実施する各団体を統括・支援し、市内で様々なジャンルの伝統文化親子教室(7教室)を水平展開する。 ②(1日体験教室) 令和5年1月28日(土) 子どもたちが短時間(1日)で気軽に伝統文化を体験できる場として、6つの体験教室を開催する。「狂言、生け花、お筆、能、和装礼法、日本舞踊」といった多彩な伝統文化から興味のある教室を選んで体験できる初心者向けの体験教室を実施。	①各教室(全7教室)ごとに、おむね約半年間(全10回程度)で練習を重ね、成果発表を行う。 ②1日で6つの体験教室を実施。	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来を担う子どもへの文化活動の促進	維持・推進	(H26 ~)	—	①参加者125名 ②参加者105名	①2,237 ②686	—	—	①従来、各教室が教室実施型として個別に文化庁からの補助を受け、実施していた(大津市は申請書のとりまとめのみ)。令和4年度は文化庁からの要請もあり、市が統括して事業を実施したが、広報面以外での効果は薄く、見直しが必要。(やっている内容は同じであるが、市が申請、実績報告を代行したことで、事務負担が大幅に増えた) ②大津市の持つ施設を活用し、子どもたちが短時間で気軽に伝統文化を体験できる機会を提供することで、伝統文化への理解と興味喚起を図ることができ、1日体験者が興味を持ち、次年度以降も開催する伝統文化親子教室(教室実施型)(半年間)へ継続して参加することにもつながった。
17	市民部	文化振興課	文化祭開催事業、学区文化祭補助事業	大津市文化祭事業として、学区ごと(全36学区)に催される音楽や舞踊などの舞台発表や、茶道体験、華道展示などの様々な文化活動に対して支援する。このことにより市民文化の向上や個性豊かで活力あふれる地域づくりに貢献するとともに、本市の文化振興の推進を図る。	学区文化祭実行委員会等の大津市文化祭参加事業に係る経費の補助 ・文化祭会場設営に係る経費 ・展示発表等に係る経費 ・パンフレット作成等広報活動費 ・事務用消耗品費	【補助対象者】 大津市文化連盟(地域文化26団体が加入)及び学区文化祭を主催する団体(11団体) (経費の1/2を補助、1団体当たり上限56,000円)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	維持・推進	(H26 ~)	—	22件(全37件中) 989,405円	—	1,792	—	感染防止対策を講じながら活動を再開した文化団体が多く、徐々ににぎわいが戻りつつあったが、文化祭を引き続き中止と判断した学区もあった。
18	市民部	文化振興課	民間のノウハウを活用した配信事業、配信等支援事業の実施	・民間のノウハウを活用した文化芸術情報の発信 ・市内における様々な文化芸術資源の情報化の促進	指定管理施設において、文化関連事業動画等の配信を行い、活動団体への支援や施設への誘客につなげる。	実施施設：2施設 (大津市民会館、スカイプラザ浜大津で随時実施)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	維持・推進	市民会館 (R3 ~ R5) スカイプラザ浜大津 (R2 ~ R6) ※現指定管理期間	—	実施事業数 市民会館：2事業 スカイプラザ浜大津：6事業	A(80%以上達成)	—	指定管理者の自主事業の一環として実施しているため、個別の事業費は不明	市民会館では、「湖都ココチャンネル」(大津市民会館・大津公民館公式YouTubeチャンネル)で随時、主催事業や施設で活動する団体の文化芸術活動を発信している。 スカイプラザ浜大津では、令和4年度中の新型コロナウイルス感染症の影響により、自主事業の一つである「浜大津文化祭をオンライン形式で開催する」「浜大津文化祭2023WEB版」を開催し、20組の参加があった。また、当施設を年間レギュラー使用されている方にライブ公演の機会を確保することを目的とした「ライブ開催支援事業」を計5回実施し、約310名の参加があった。動画配信については、今後更なる内容の充実及び更新頻度の向上を目指す。
19	市民部	文化振興課	SNS等を活用した文化情報の発信	若年層が文化芸術に親しむ機会の創出	大津市公式LINEで文化関連事業や文化芸術振興に関わるトピックについて発信する。	配信件数：2件 ※令和3年度は実績が無いため、令和4年度実績	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	維持・推進	(R4 ~)	配信件数：5件	配信件数：2件	C(20～50%達成)	—	—	伝統文化親子教室1日体験教室開催について1件、美術展・写真展開催について1件の計2件、LINE配信を行った。今後は課として実施している全ての文化関連事業についてLINE配信を行うこと、その他SNSの積極的な導入を検討する必要がある。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※計画策定時(R3年度)の事業規模	計画との関連			令和4年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和4年度の取組内容
20	市民部	文化振興課	回遊型コラボレーション事業	市内文化施設を訪れる機会の創出 文化芸術に親しむ機会の提供	大津市美術展覧会・写真展覧会の開催に合わせ、夏休み期間中に周辺の文化施設において文化イベントを実施すると同時にスタンプラリーを行うことにより、人の流れをつくり、文化の力でにぎわいを生み出す。	スタンプラリー対象施設:8施設 企画イベント数:文化振興課2件 及び各施設:2~3件	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	①既存事業や文化施設等の連携による有機的な繋がり促進	維持・推進	(H29 ~)	企画イベント数:2件	企画イベント数:2件	A(80%以上達成)	420	美術展・写真展の開催日~8月末までを期間として、大津市歴史博物館、スカイプラザ浜大津、長等創作展示館・三橋節子美術館、大津市伝統芸能会館、大津市民会館、大津祭曳山展示館、大津市立図書館、大津市埋蔵文化財調査センターの計8施設をめぐるスタンプラリーを実施した。期間中には子どもを対象とした企画イベントとして、伝統芸能会館で能の体験教室を、市民会館で狂言の体験教室を開催し、多くの親子にご参加いただいた。スタンプラリーについては、スタンプ押印を管理できない施設もあり、すべての施設で足並みを揃えることが難しく、負担にならないやり方を模索する必要がある。
21	市民部	文化振興課	学校等と連携した文化芸術体験機会の提供							事業実施の実績無しのため記載せず						
22	福祉部 子ども未来局	幼保支援課	地域活動事業 (保育園)	地域の歴史や伝統文化、芸術等に触れ、文化への関心や地域への愛着心を育む 豊かな感性や道徳心、人とかかわる力を育む	地域の老人クラブ等との芸術鑑賞、伝統行事や伝承あそびの体験。史跡や文化施設訪問、地域の民話や歴史を聴く、地域文化継承者との交流など。	公立保育園(14か園)×年6~20回程度	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H1 ~)	—	開催回数:46回 参加者数:2598人	B(50~80%達成)	140	各保育園で感染症対策を講じながら慎重に事業の開催を行った。おはなし会や人形劇などの芸術鑑賞、太鼓や楽団の音楽鑑賞が事業内容として多い。
23	福祉部 子ども未来局	幼保支援課	学校支援総合推進事業 (幼稚園)	地域の歴史や伝統文化、芸術等に触れ、文化への関心や地域への愛着心を育む 豊かな感性や道徳心、人とかかわる力を育む	地域の老人クラブ等との芸術鑑賞、伝統行事や伝承あそびの体験。史跡や文化施設訪問、地域の民話や歴史を聴く、地域文化継承者との交流など。	公立幼稚園(29園)で実施	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H23 ~)	—	派遣回数:69回 参加者数:3,423名	A(80%以上達成)	290000	コロナ禍で感染予防に配慮しながら、各園で地域人材を活用したため、知名度の高い旧竹林院を連動して企画された。
24	産業観光部	観光振興課	歴史的建造物の資料館などとしての活用	歴史的建造物を資料館などとして活用することにより、坂本の歴史や文化を知ってもらう機会を創出し、比叡山とその山麓及び山王祭による本市観光振興の推進に寄与する。	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。	旧竹林院及び公人屋敷の入館者数(30,482人/R3年)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	①既存事業や文化施設等の連携による有機的な繋がり促進	維持・推進	(R3 ~)	旧竹林院:30,000人 公人屋敷:3,600人	旧竹林院:37,014人 公人屋敷:3,420人	A(80%以上達成)	旧竹林院:2,800 公人屋敷:3,830	公人屋敷単体でイベント等を企画すると、集客が少し弱くなるため、知名度の高い旧竹林院を連動して企画するなど集客方法を検討することが課題。
25	産業観光部	観光振興課	祭行事の開催費用の補助	大津三大祭等の行事開催を支援することにより、伝統的な祭行事、活動の継承につなげ、本市観光振興の推進に寄与する。	市内各地で行われる大津三大祭をはじめとする祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、補助金を交付する。	大津三大祭の入込客数(2,000人/R3年)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ~)	—	203,000人/R4年	A(80%以上達成)	11,897	新型コロナウイルス感染症の流行前とほぼ同規模で各祭が開催されるようになり、入込客数も大幅に回復した。
26	産業観光部	観光振興課	競技かるた等の大津ならではの文化資源を活かした事業の実施	百人一首の巻頭歌を詠んだ天智天皇をご祭神とする近江神宮において、競技かるた日本一を決める大会等が開催されることから、大津ならではの観光資源として「百人一首かるた」を活かした観光振興に取り組む。	「百人一首かるた」ゆかりの地に関する情報発信や市内で開催される大規模な競技かるた大会への協力、地域のかかるた会が主催するかるた体験アンスタント講座への後援等を実施。	近江神宮および近江勤王館の観光入込客数(371,053人/R3年)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	(R3 ~)	—	552,696人/R4年	A(80%以上達成)	400	新型コロナウイルス感染症の流行前とほぼ同規模で各祭が開催されるようになり、入込客数も大幅に回復した。今後後援の実施など必要に応じて協力を継続する。
27	市民部	自治協働課	大津市パワーアップ・市民活動応援事業	市民団体等が地域の課題解決やまちの活性化を図るために実施する主体的なまちづくり活動に対して補助金を交付し、協働のまちづくりの推進を図る。	「トライアップ部門」におけるテーマの1つとして「歴史・文化」を設定し、魅力ある歴史・文化活動に対して補助金を交付する。	補助金交付	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(R4 ~)	—	2団体に補助金交付	A(80%以上達成)	297	探採事業・プラスチック探偵団:夏休みに小学生を対象とする連続講座を開催し、プラスチックごみ問題について理解を深め、その対策について自ら考える機会ができた。 三井寺 みんなでつくるみんなの森野外定期活動:自然環境の持つ価値を体感するための野外プログラム活動を実施した。 森林再生とその再生文化発展を長期目的とした、植樹活動及び土壌改善活動を実施した。自然の大切さや森林再生の意義を学ぶ勉強会・講演会を実施した。
28	市民部	文化財保護課 歴史博物館	文化財の調査研究	未調査の文化財の体系的調査を行い、文化財の現状の把握と保存・活用につなげる。 新たな文化財の発見により、地域の活性化につなげ、文化財の保存継承に資する。	市内の寺社や地域に残る未調査文化財の発掘調査及び保存・活用のための基礎資料作成 地域に埋もれている文化財を調査・研究し、その歴史に新たな光を当てる。	未指定文化財(文化財保護課)調査回数20件(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	—	年間20件(歴史博物館)	66件(歴史博物館)	A(80%以上達成)	500	浄土真宗・石山寺を中心に比較的多くの寺社を調査することができた。 従来、地域で守り伝えられてきた有形・無形文化財が、継承できなくなってきた。
29	市民部	文化財保護課 歴史博物館	調査報告書等の発行	大津市内で実施した埋蔵文化財調査結果についての報告書を作成し、関係機関に配布することによって、大津市の文化財について広く知ってもらう。(文化財調査成果の市民への還元)	開発事業に先立ち、文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、調査結果の報告書を作成する。 未指定文化財の調査成果を、報告書を刊行することで、広く市民に公開する。	毎年約8か所の発掘調査を実施し、報告書を作成 大津市埋蔵文化財調査年報年間4冊(歴史博物館)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(S47 ~)	8冊(文化財保護課) 2冊(歴史博物館)	11冊(文化財保護課) 4冊(歴史博物館)	A(80%以上達成)	1,988	発掘調査10か所の調査報告書の作成、大津市埋蔵文化財調査年報1冊を作成した。 歴史系の報告書2冊を刊行することができた。
30	市民部	歴史博物館	歴史博物館企画展の開催	大津の文化財や地域の歴史に触れる機会の創出	年2~3回、大津の歴史や文化を啓発する多様な展覧会を開催する。	各企画展 入場者2,000人以上	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H2 ~)	企画展入場者数 各2,000人以上	春季企画展2,461人 夏季企画展3,250人 秋季企画展3,972人	A(80%以上達成)	32745	企画展の入場者数は目標値を超えることができた。また、有料観覧者数も2,000人を超えている展覧会があった。
31	市民部	歴史博物館	「れきはく講座」の開催	大津の歴史・文化の調査・研究成果の市民への還元	年10~20回、学芸員や外部講師による、大津の歴史・文化をテーマにした講演会や現地見学会を開催する。	各回80人	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(H2 ~)	年間40回	年間38回	A(80%以上達成)	360	講座のみならずワークショップや現地見学会など多様なイベントを開催できた。
32	市民部	歴史博物館	夏休みワークショップの開催	地元大学との協働による博学連携事業の推進と親子の歴史への興味関心喚起	地元大学との連携による夏休みの子ども向けワークショップの企画立案・実施	大学学生約20人、ワークショップ参加者のべ約240人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	②子どもが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H14 ~)	参加者数240人	参加者数244人	A(80%以上達成)	500	参加者数は概ね目標通りであったが、おもちゃの種類によって参加者数に偏りが生じた。
33	市民部	歴史博物館	大津の歴史データベースの公開	大津の文化財や歴史に関する知識の普及	ホームページ上で公開することで、誰でも気軽に大津の歴史を調べ、調べることができる環境を整える	年間10件更新	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	新規	(R4 ~)	年間10件新規記事更新	8件更新	A(80%以上達成)	693	更新件数は概ね目標通りであったが、更新記事が「歴博たより」や報告書など偏りが生じた。 なお、X(旧twitter)、インスタグラムで月約15件投稿し、情報発信を行っている。
34	市民部	文化財保護課	文化財の指定	歴史文化遺産を調査し、情報の収集	未指定文化財を調査し、大津市文化財保護審議会の審議を経て、大津市の指定文化財に指定する。	市指定 : 161件	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	①歴史文化資源の調査・研究による価値の明確化	維持・推進	(S40 ~)	—	—	—	78	文化財保護審議会において、調査および会議を行った。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※計画策定時(R3年度)の事業規模	計画との関連			令和4年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和4年度の取組内容
35	市民部	文化財保護課 埋蔵文化財調査センター	遺跡や埋蔵文化財に関する学習機会の提供	・多くの人々の、埋蔵文化財への関心を高め、理解を深めてもらう。 ・中学生向け副読本を作成し、大津市の歴史と文化への関心喚起	・埋蔵文化財を適切に整理・收藏するとともに、各種講座・遺跡見学会や展示会を開催する。 ・中学生向けの副読本として作成した「大津市の歴史文化—未来に伝える15の物語—」を配布	・埋蔵文化財調査センター来館者(1,839人/R4年) ・市内中学1年生に配布	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	(R3 ~)	埋蔵文化財調査センター来館者数 1,700人	・埋蔵文化財調査センター来館者数 1,839人中学生2,832冊配布	A(80%以上達成)	53,083	・宅地開発などに伴い埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、出土品が毎年増え続けており、現地調査後の早急な整理と報告書の刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。また、施設の老朽化が進んでいることから令和4年度には空調設備の改修とLEDの工事を実施した。 ・市内中学校と中学1年生に3,160冊配布したが、あまり活用されていない学校もあるため、令和5年度からは、授業でも使えるようにデジタルデータを作成し、より活しやすい教材とする。
36	都市計画部	都市計画課	絵画展の開催(景観絵画展)	美しい古都大津の景観を守り育て、次代に引き継ぐことを目的とした景観形成の推進に対する市民意識の高揚を目指す	大津の景観について、小学生3年以下、中学生以下及び一般の部に分け、絵画作品を広く募集する。	選考会(1日) 表彰式(1日) 展示会(10日間)	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	②子どもが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H15 ~)	—	応募作品:780作品	A(80%以上達成)	856	幅広い年代から780作品もの応募があり、展示会において実施したブックカバー作成に係るアンケート調査では過去最多の278件もの回答が得られた。
37	都市計画部	都市計画課	地域固有の歴史・文化遺産発信事業(副読本、文化遺産マップなどの作成)	地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会の創出。 歴史まちづくりに関する市民意識の向上。 市域全体の歴史的風致の維持向上。	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。	2団体程度(年間)	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(1)文化芸術活動の情報発信	①地域文化、歴史文化や担い手等の文化芸術情報の発信	維持・推進	(R3 ~)	—	製本・印刷:2件	A(80%以上達成)	197	2件の副読本及び文化遺産マップを製本・印刷した。
38	都市計画部	都市計画課	地域の人材活躍の支援	歴史まちづくりに対する地域住民の機運を高める。 各地域で活動されている団体の連携を深め、今後の更なる活動に役立てる。	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。	勉強会(年間) 25人程度 × 3回 交流会(年間) 25人程度 × 1回	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(R3 ~)	—	歴まち講座上級編開催:3回 参加者:63人	A(80%以上達成)	0	堅田、坂本、大津百町の3重点区域で「歴まち講座上級編」を3回開催し、63人参加された。
39	都市計画部	都市計画課	大津まちなか大学の開催	まちづくりの核を担う人材を育成。	同大学には、大津を訪れる人に大津百町の魅力を伝え、積極的に発信できる人材の育成を目的とした「大津百町おもてなし学部」と大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承していく人材の育成を目的とした「大津祭学部」があり、それぞれの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。	大津百町おもてなし学部(年間) 15人程度 × 6回 大津祭学部(年間) 25人程度 × 9回	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	おもてなし学部 (H30 ~) 大津祭学部 (H18 ~)	—	おもてなし学部開催:2回 受講生:42人 大津祭学部講座:1回 受講生:28人	A(80%以上達成)	0	大津まちなか大学おもてなし学部を2回開催し、42人受講された。 大津まちなか大学大津祭学部を開催し、28人受講された。
40	都市計画部	都市計画課	歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備	歴史的風致の維持及び向上のために必要かつ重要と思われる建造物を指定することで、指定文化財の保護とともに、指定文化財以外の歴史的建造物の保護を推進。	大津市歴史的風致維持向上計画の重点区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備を行う。	随時(年間)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ~)	—	保存修理:1件	A(80%以上達成)	1,844	歴史的風致形成建造物指定候補物件所有者への意向調査を行った。 歴史的風致形成建造物1件の保存修理を行った。
41	都市計画部	都市計画課	堅田・坂本まちなみ整備事業補助	歴史的建造物の外観整備を促し、歴史的なまちなみの景観の保全及び形成を図る。	堅田・坂本の対象区域内において、景観に配慮した建築物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。	随時(年間)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(R3 ~)	—	堅田1件 坂本1件	A(80%以上達成)	3,911	堅田重点区域で1件、坂本重点区域で1件の修景補助を実施した。
42	都市計画部	都市計画課	町家の利活用の支援	歴史的建造物の保存・活用	歴史的建造物である空き町家の利活用を支援し、町家の新たな利活用を促す。	町家の日in大津(1回) 協力店舗15程度	1 文化芸術に親しむ場づくり	(2)豊かな歴史文化資源の調査研究と保存・活用	②歴史文化資源の保存と活用	維持・推進	(H28 ~)	—	「町家の日」3/4~3/12開催。イベント協力17店舗	A(80%以上達成)	0	17の店舗に協力いただき、「町家の日in大津」を3/4~3/12開催した。
43	都市計画部	都市計画課	重点地区におけるまちなか魅力発掘事業	大津百町重点区域周辺の魅力発信と周遊促進	魅力発信や周遊促進を効果的に図ることができ、PR動画、デジタルマップ、周知啓発用のパネルを制作	PR動画、デジタルマップ、周知啓発用のパネルを制作	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	新規	R4	—	デジタルマップの制作 パネル展示:3回 クイズラリーの実施:1回 動画制作:30動画	A(80%以上達成)	9,196	大津市デジタル今昔マップを制作し、周知啓発用のポスター・チラシを制作した。 歴史的風致維持向上計画について周知啓発するパネルを制作し、3つの重点区域(大津百町、坂本、堅田)でパネル展を開催した。 逢坂小学校・中央小学校・長等小学校・平野小学校を対象に、地域の歴史・文化を身近に感じられるようなクイズラリーを実施した。 大津百町地域の歴史的風致を紹介する動画(大津歴まち90秒大学)を30制作した。制作した動画を周知啓発するためのティザー動画を制作し、YouTubeで発信した。
44	都市計画部	都市魅力創造課	公共空間の活用	JR大津駅周辺のまちなかにある広場や公園、道路など公共空間において、官民連携のもと日常的な利活用を促進し、まちなか賑わいや憩いの場所を生み出して、地域の魅力を高める。	大津駅前公園等において、和洋様々なフード・ビールなどを取り扱ったキッチンカー等の出店を行う。	年間のうち、8月~10月頃随時	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	(R2~)	—	約700人	B(50~80%達成)	—	新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」への対応を推進し、今までほとんど使うことができなかった公共空間にスポットを当てることができた。道路の利活用にあたって、手続き及び調整が煩雑であり、調整した結果、実施することができないというケースがあった。そのため、実施にあたっては、行政が調整を行っていた。
45	環境部	環境政策課	身近な環境市民調査事業	身の周りの自然や環境の状況を実感し、自然環境への意識と関心を高めてもらう。	毎年度決定する1つのテーマに対して、大津市に在住されている方々が調査員となり、分布状況や種類を調査・報告していただく。	調査員310人(今年度実績)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	維持・推進	(H2 ~)	—	参加者 181人	A(80%以上達成)	495	アカトンボの調査を実施し、延べ6,051匹の報告を頂いた。
46	環境部	環境政策課	自然家族事業	琵琶湖や田畑、山や川などで事業を実施し、環境を理解し環境に配慮した行動ができる人(環境人)を育てる。	4歳児~小学生とその保護者を対象に、「〇の日」と題した自然体験に参加していただく事業。1年に4事業を2回ずつ、計8回実施。	参加者148人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H19 ~)	—	参加者 221人	A(80%以上達成)	他事業と一括で外部委託しているため個別の事業費は不明	「里の日①」「里の日②」「里山の日①」「里山の日②」「川の日①」「琵琶湖の日①」「琵琶湖の日②」の計7回実施した。
47	環境部	環境政策課	指導者研修会事業	幼児期における環境教育の充実を図ること。	ネイチャーゲーム等の内容を2回程度実施。	参加者35人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H20 ~)	—	参加者 27人	A(80%以上達成)	82	自然体験活動に関するスキルアップを目的として、幼稚園教諭及び小学校教諭を対象にネイチャーゲームを学ぶ研修会を実施した。
48	環境部	環境政策課	大津こども環境探検団事業	自らの生活の中で環境に積極的に関わり、行動できる「環境人」の育成を目指す。	大津市内の小学3年生~中学3年生(年間登録制)の子どもたちを募集し、環境全般(自然環境、社会環境)にわたる総合的・系統的な体験学習を実施。	参加者50人(今年度実績) ボランティア参加者17人(今年度実績)	2 文化芸術を支える人づくり	(1)文化芸術の担い手、つなぎ手の育成・支援	①文化芸術を担う人材、団体の育成・支援	維持・推進	(H2 ~)	—	参加者44人(今年度実績) ボランティア参加者17人(今年度実績)	A(80%以上達成)	450	計4回の活動を実施し、琵琶湖や里山の環境、生態系について学習した。
49	教育委員会	和邇文化センター	地域文化・歴史の講座、講演会の開催	・主体的な学びを行う団体等への活動の場を提供する。 ・市民の教養の向上、地域の文化の振興に資する。	市民の文化及び教養の高揚並びに芸術の振興に寄与するため資館をはじめ関連する事業を実施。	ホール収容人数500人(固定席)、会議室収容人数20名 年間入館者数8,432人(R3実績)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	—	・自主事業参加者200人 ・年間入館者8,000人	・自主事業参加者602人 ・年間入館者18,580人	A(80%以上達成)	52,417	座席が固定式で利用が限定されるが、ゆったりと観覧できるメリットを活かした舞台活用をアピールし利用促進を図っている。また、新型コロナウイルス感染症防止対策が進捗する中、新たな視点により多目的で幅広い利活用を図った。
50	教育委員会	図書館	地域の歴史や文化に関わる情報資源の収集と提供	郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行うことにより、図書館資料を積極的に活用した資料展示やレファレンスをおこなうことで、郷土資料を活用した学びの継続や発展につなげる。	・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示 ・学びの継続や発展につなげる資料の収集	郷土資料及び行政資料の所蔵数	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	R4.4/1~R5.3/31	—	市民に提供する郷土資料及び行政資料の所蔵数 郷土資料:30,000冊 行政資料:5,000冊	A(80%以上達成)	300	・郷土資料及び行政資料の収集及び利用者への提供を行った。 ・収集した郷土及び行政資料の積極的な活用や資料展示を行った。 ・NHK大河ドラマ等に関連した講座を開催し、関連する図書等の資料収集及び展示、提供を行った。

第3次大津市文化振興計画 進捗状況調査票

番号	部局	所属	事業名	目的	事業概要	事業規模 (入場者数、スタッフの数等) ※計画策定時(R3年度)の事業規模	計画との関連			令和4年度						
							基本目標	施策	主な取り組み	実施状況	始期、終期(予定)	目標	実績	評価	事業費(千円)	成果と課題、令和4年度の取組内容
51	教育委員会	学校教育課	大津市小中学校児童生徒書き初め展	各校においては新年の意欲の喚起と技術練成を兼ねて書き初めを課し、代表作品を一同に集め、広く一般の鑑賞を資するとともに、市内書写教育の発展充実を期する。	小学校1～2年生は硬筆、小学校3年生～中学校3年生は毛筆(画仙紙)で提出。 最終日に書写教育部会による学習会の実施。	鑑賞者1,700人 受付スタッフ20人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	今後も継続	鑑賞者数:1,700人	鑑賞者数:2,067人	A(80%以上達成)	54	出品された一作品に対して、3世代の家族が鑑賞のために来館されることもあり、実施満足度は非常に高い。出品された子どもたちにとっては、自分の頑張りを認めてもらえる貴重な機会であり、自己肯定感の醸成に有意義な事業といえる。 令和4年度は来館者カードの提出を求めなかったため、来館者数が増加した。
52	教育委員会	学校教育課	大津の子ども総合美術展	大津市内の幼稚園・小学校・中学校における美術教育の振興を図る。	立体作品は、県教育美術展における入選作品を幼児・児童・生徒が生き生きと表現し、自分の思いを素直に出している作品を一同に集め、広く一般への鑑賞に資する。	鑑賞者1,800人 会場責任者28人	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	①子どもたちが文化芸術に親しむ機会の創出	維持・推進	今後も継続	鑑賞者数:1,800人	鑑賞者数:1,732人	A(80%以上達成)	22	出品された一作品に対して、3世代の家族が鑑賞のために来館されることもあり、実施満足度は非常に高い。出品された子どもたちにとっては、自分の頑張りを認めてもらえる貴重な機会であり、自己肯定感の醸成に有意義な事業といえる。 令和4年度は、コロナ禍で出品数を7割程度に制限していたが、休日の来館者数が800人を超えた。
53	教育委員会	学校教育課	学校夢づくりプロジェクト	子どもたちの思いをもとに、地域学校が力を合わせて創意工夫をいかに夢のあるプロジェクトに取り組み、児童生徒が主体的に学び、心豊かに生きていくことができる力の育成を目指す。	学校は、子どもの思いをもとにプロジェクトを計画。実施内容の計画書と予算書を作成し、大津市教育委員会に提出する。	大津市内小中学校全55校	2 文化芸術を支える人づくり	(2)未来の担い手を担う子どもへの文化活動の促進	③地域・学校等と連携した夢が膨らむ文化体験の促進	拡充	今後も継続	—	—	A(80%以上達成)	13,220	児童生徒の思いや願いを踏まえた教育活動の意義、重要性の再確認をする機会となった。地域、民間企業等への積極的な働きかけと協働がなされた。学校ごとの企画立案力、マネジメント力、調整力の差が課題として見られる。
54	教育委員会	学校給食課	食の文化の継承	行事食や伝統料理などの食文化を継承する。	日本各地の郷土料理や、滋賀の産物を使用した料理、外国料理、行事食等を献立に取り入れ、提供する。	郷土料理 : 年11回 滋賀の産物 : 年11回 外国料理 : 年11回 行事食 : 年12回	3 文化芸術を活性化させる仕組みづくり	(2)関連分野、他分野との連携と創造的な文化活動への支援	②他分野(観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等)との連携	維持・推進	—	—	—	—	—	引き続き日本各地の郷土食等の伝統的な食文化の伝承を推進する。また、いろいろな国の食文化を知らせていく。
55	教育委員会	生涯学習課	公民館・コミュニティセンター貸館事業	主体的な学びを行う市民団体等への活動の場の提供	自主学習グループや市民文化団体等への貸室を行う。(文化振興に関わりの無い利用も含む。)	R2年度実績33館 (利用団体・一般貸館合計) 29,276回 336,728人	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	②誰もが文化芸術を表現する機会の充実	縮減	(~)	—	R4年度実績22館 (利用団体・一般貸館合計) 30,703回 386,210人	—	32,028	公民館からコミセンへの移行に伴い、貸館は33から22館へ減少。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和される中、利用回数、人数は共に増加した。
56	教育委員会	生涯学習課	公民館・コミュニティセンター講座開催事業	市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。	定期講座、講習会、講演会等を開催する(文化振興に関わりの無いものも含む。)	R2年度実績33館 463講座、8,650人参加	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	縮減	(~)	—	R4年度実績22館 547講座、10,449人参加	—	1,503	公民館からコミセンへの移行に伴い、貸館は33から22館へ減少。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和される中、講座回数、参加人数は共に増加した。
57	教育委員会	生涯学習課	文化財家族参観事業	文化財に親しむことで、明るい家庭づくり・生涯学習を推進する。	本市在住の家族(者)が、毎月第3日曜日(家族ふれあいサンデー)に、対象社寺において、企業局が発行する『水道・ガス等ご使用量のお知らせ』を提示することで、無料で参観することができる。	対象社寺数:12社寺 来場者数:のべ554組 1,074名(令和3年度上半期)	1 文化芸術に親しむ場づくり	(1)誰もが文化芸術に親しめる環境の充実	①誰もが文化芸術に親しむ機会の創出	拡充	(~)	—	R4年度実績 対象施設:12社寺、2施設(歴史博物館、三橋節子美術館) 利用者数:1,877組 3,693名	A(80%以上達成)	840	令和4年度から、歴史博物館、三橋節子美術館が新たに追加された。 大津市公式LINEでの積極的な周知を行ったことで、利用者数が前年度の1.5倍以上となった。 今後は、更なる利用拡大の観点から、参観時の受付作業の簡略化(携帯電話の画面提示など)を検討する必要がある。